



おおにしだより

第42号

平成27年 1月15日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

3学期がスタート！ 本年もよろしくお願いいたします。

新年、あけましておめでとうございます。今年は未年です。羊は馬と同じく、古くから人間と馴染みの深い動物であり、群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味していると言われています。

子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとって、充実した飛躍の年となりますよう、心からお祈り申し上げます。3学期は、それぞれの学年のまとめの学期となります。本校教育目標の具現化を目指し、教職員一同精一杯努力してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



全校一斉下校

☆☆☆アンケートの結果を学校改善に活かします☆☆☆

さて、2学期にご協力いただきましたアンケートの集計がまとまりましたので、結果をご報告させていただきます。お陰様で95.1%という高い回収率でした。これだけ多くの保護者の皆様が本校の教育に関心をもたれていることに対し、有り難いと感じるとともに、身の引き締まる思いをいたしております。温かいご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

なお、これらの結果や、教職員の自己評価及び学校関係者評価等を生かして、良いところは一層進め、改善すべきところは改善し、今後の学校運営に役立てていきたいと考えます。

【保護者アンケート集計結果】

番 号	項 目	結果(%)
学 校 運 営	1 学校は、児童の実態及び保護者や地域のニーズを踏まえて、教育活動を実践している。	95→
	2 学校は、家庭や地域と連携・協力して、教育活動を行っている。	95→
	3 保護者は、学校の懇談会やPTA活動などに積極的に参加している。	89↑
	4 学校は、情報（学校だより、学年だより等）を積極的に発信・提供している。	95→
	5 学校は、いじめや体罰のない学校づくりに取り組んでいる。	86↓
教 育 活 動	6 あいさつの声が行き交い、学校全体に活気がある。	81↓
	7 授業や学校行事など、年間を通して適切に設定され、実践されている。	96→
	8 教職員は、様々な教育活動を通して、児童の豊かな心の育成に努めている。	94→
	9 教職員は、授業を熱心に行い、児童の能力向上や可能性の伸長に努めている。	93→
	10 教職員は、いじめなど、人としてやってはいけないことをきちんと指導している。	91↑
子 ど も の 様 子	11 自分の子どもは、きちんとした言葉づかいや返事をしている。	73→
	12 自分の子どもは、自分の役割を果たし、きまりを守っている。	83→
	13 自分の子どもは、いじめをせずに思いやりをもって行動している。	94→
	14 自分の子どもは、好き嫌いをなく食べている。	72↑
	15 自分の子どもは、体を動かし積極的に運動している。	79→
	16 自分の子どもは、自分の考えや思いをきちんと伝えられる。	64→
	17 自分の子どもは、家庭での学習習慣が身についている。	59↓
特 色 あ る 活 動	18 学校は、学習指導の工夫改善に努め、また、家庭学習の進め方などを通して、自分の思いや考えを表現できる児童の育成に取り組んでいる。	91↑
	19 学校は、地域の自然や人との関わり、地域に学ぶ等の活動を通して、豊かな心の育成に取り組んでいる。	95→
	20 学校は、異学年交流活動（仲良しグループや仲良しタイム等）を通して、児童活動の活性化を図り、思いやりの気持ちをもって行動できる児童の育成に努めている。	96→

◎ 結果は4段階の「1とても思う」と「2少し思う」の計(%)を示してあります。なお、昨年度との比較で3%以上の差が見られるものは、↑↓で示しました。

《アンケート結果から》

①昨年度同様、学校や教職員に対する質問には、8割から9割の保護者から肯定的な評価をいただきました。特に、1・2・4・7・8・9・13・19・20については93%以上と高い評価をいただいたことは、教職員にとって大変励みになります。また、19・20は、本校の特色ある学校づくりと関わりの深いものです。とちぎ未来アシストネット等、学校支援ボランティアの皆様による学習支援や、異学年交流活動など、本校で取り組んできたことが、保護者の皆様にご理解いただいているものと受け取れ、大変嬉しく思います。

②自分の子どもに対する質問（11・14・15・16・17）については、6割から7割に留まっています。自分の子どもが期待する子ども像にまで達していないと感じているのか、厳しい評価をしているようです。保護者の皆様の真摯な気持ちとともに、お子さんに対する期待の大きさを感じます。これらの項目は、いずれも習慣化するには、十分な時間と努力が必要です。学校と家庭とで補い合い、協力し合いながら身に付けさせていきたいと考えます。

③16は、本校の学校課題研究との関連が深い内容です。本校では「互いの考えを出し合うなど、学び合いにより授業の質を高め、言語活動の充実により思考力・判断力・表現力を育成する」ことを目指し取り組んでまいりました。今後も、「表現活動の場を多く取り入れた授業の展開」「一人一人が主体的に思考・判断する活動の充実」「各教科等における言語活動の充実」「学びに向かう集団づくり」「自信をもたせる授業、コミュニケーション能力を育む授業の充実」等、学校全体での改善策をより一層講じてまいりたいと考えます。

④17は、アンケートの中で最も低い評価でした。学校で学んだ基礎的・基本的な学習をしっかり定着させるためには、家庭学習はとても大切なものであると考えます。今後とも、学校と家庭が連携して、子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣化が図れるように努力してまいりたいと考えます。

貴重なご意見や要望などをたくさんいただきました。紙面の都合で、ご意見の多かった以下の三点につきまして、学校の考えを載せたいと思います。

意見1「子どものまちがった行動には厳しく指導してほしい。」また、「相手のことを思いやる心や、自分がされていやなことはしないことなどを教えてほしい。」

→ 本校の子どもたちに善悪の判断ができ、基本的な生活習慣を身に付けさせることは、学校の重要な役割であると考えます。学校では、日常生活の様々な場面を通して、一人一人の児童の心に響く指導を繰り返し行っております。今後とも、公德心や社会規範を守る心、自らを律しつつ他人と協調し、他人を思いやる心や美しいものに感動する心などの「豊かな心」を育むことができるよう全力で取り組んでまいりたいと考えます。

なお、このような「豊かな心」をもつ子どもに育てるには、学校・家庭・地域社会が丸となって取り組む必要があります。とりわけ、幼児期からのしつけや家庭教育が何よりも重要です。

急激な社会変化や価値観の多様化が進む中で、子どもたちの心は不安定になりがちですが、学校だけではなく、全ての大人が共に補いあって、密接に連携し合いながら一貫した指導を行うことが何よりも重要なことと考えます。

意見2「旗当番の方や、子ども見守り隊の方へのあいさつができるように指導してほしい。」

→ 昨年度も同じようなご意見をいただきました。本校では「大きな声で」「自分から進んで」「相手の目をきちんと見て」「笑顔で」あいさつができるように指導しています。子どもたちの意識は高まっており、心を込めてあいさつができる子が増えてきたように感じます。しかし、まだまだ個人差が大きく、ご指摘のように学校外でのあいさつが上手くできない子もいます。今後とも、地域の方々への感謝の気持ちを、明るいあいさつで表すことができるよう、さらに指導してまいりたいと考えます。

なお、普段から家庭や地域などで声をかけてもらえる子は、自分から進んであいさつができるようになるようです。朝のあいさつ、食事のあいさつ、近所の方へのあいさつができていくかどうか、ご家庭でも励ましてください。

意見3「登校班でのトラブルが起きないように指導してほしい。」

学校では、事故防止の徹底に努め児童の安全意識の向上を図るよう繰り返し指導しています。

しかし、ご指摘のように登校班がうまく機能していないということは、学校の指導が不徹底であると反省しなければならないと考えます。今後とも、一斉下校時の全体指導や各学級での指導等を通して、交通ルールを遵守し、大切な命を守ろうとする態度を育成したいと考えます。

なお、次年度に向け1月14日（水）5校時終了後に新しい登校班ごとに集合し、「新登校班編制」の会議を行いました。育成会長の皆様にはお忙しいところ大変お世話になりました。ご指摘のようなトラブルが起きないように、また、仲良く安全に登下校できるように登校班の心構えも指導いたしました。会議の終了後には、担当教員と育成会長の皆様が登校班の児童たちと一緒に通学路を歩きながら指導を行いました。

安全な登下校の仕方について、ご家庭でも是非、お子さんと話し合っただけければ幸いです。

また、ご近所の保護者同士での話し合いもよろしくお願いいたします。

学級担任について（お知らせ）

この度、本校の越沼有子教諭が、文部科学省主催の教員研修（東京都）に参加することになりました。期間は、1月19日（月）から1月23日（金）までの5日間です。

この間の授業体制ですが、4年1組につきましては、学習指導主任の寺崎光一教諭が担当します。21日（水）には、本年度最後の授業参観がありますが、寺崎教諭が授業を行います。短い期間ですが精一杯努力しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。